

自治って何だ

原島裕一

読者の皆様、受験お疲れ様でした。筆者は東北大学日就寮に住む、学部1年の原島裕一です。この特別寄稿の他の欄に京大の教授方、卒業生が寄せている中で、19歳の僕が偉そうに何か語れる訳では無いのですが、こういう機会を日就寮として頂いたので、代表して書かせて頂きます。

東北大学日就寮とは？

日就寮は旧制仙台高等工業学校の寮として1909年に建てられ、吉田寮に匹敵する長い歴史があります。1936年に収容人数増加の為に現在地へ移転し、建て直しを経て1971年に現在の建物が完成しました。食堂やセントラルヒーティング（現在は共に廃止）、大浴場などが備わった当時としては豪華な寮だったそうです。

また、「自治と共同」を標語に掲げるだけあって、年4回の対面での寮生総会や、委員会での入寮選考、日常の物品管理、寮費管理、イベントなど東北大学の寮の中で一番自治してます。

他にも、有志が運営する物販でカップ麺、米が買えたり、吉田寮と同じく共用のゲーム部屋、麻雀部屋、漫画部屋があったりと、共用のメリット、アクティビティは豊富です。

そのおかげで寄宿料700円、水光熱費を合わせた家賃は12000円前後とかなりリーズナブル、と言いたいところですが吉田寮と比べれば5倍もかかってしまうので超高級自治寮でしょう。しかしこの家賃にはサラダ油、酢、醤油など基本的な調味料代とか、ゴミ袋代など、本来一人暮らしで別途かかる費用も含まれてます。優しいね！

しかし、当局からの攻撃を受け寮生が1桁代まで激減し、家賃が5万円台になる時代もあり廃寮の危機にありました。ここ数年で20人前後まで寮生が増え、10年間途絶えていたイベントが復活できるまでになりました。とはいえ、定員割れが著しいので、元々2人部屋でしたが現在は個室です。まあ、なんだかんだ言って今、旗を翻してる最中の寮が東北大学日就寮なのです。

日就寮との出会い

筆者は入試会場で受け取ったビラで初めて存在を知りました。吉田寮や熊野寮はあまりに名が知られていたのが高校生の僕でも知っているのとは対照的です。広報を頑張らないと日就寮は受験生に認知すらしてもらえません。当初寮に興味はありましたが、本気ではなかったです。ですが、パンフを読むうちに共用設備、安さに惹かれて「もうここでいいや」って思っていました。あと手続きも楽し。まさに今なんとなく興味を持った者の皆さんが読んでいく内にどんどん吉田寮の魅力に沼っている最中だと思います。

ちなみに筆者は一人で静岡から高速バスに揺られて宮城で受験しました。誰とも喋らず一人で行動するのが苦痛だったので、アパートでの一人暮らしはしたくないと思ったのも入寮理由の一つ。何なら、筆者は志望校選定、使用する問題集、出願、宿泊・高速バス手配、入学手続き、引っ越しと、ありとあらゆることを「自分で決めて、自分でやりました」。自分は元々自治してたみたい(煽り)。

自治って何だ

高校が進学校では無かったので僕は規則だらけの高校生活でした。頭髮検査が煩わしかったので夏は坊主にしていたくらいです。そんな人間が「自治を強く標榜している」

(∵東北大学当局基準)寮に入るのは大きな環境の変化でした。

私は「大学自治、学生自治は軍国主義、全体主義の反省から学生たちによって確立された」という認識ですが、ド素人なので「法的根拠無くない？」と毎回感じるのも事実です。

「不平等な権力関係に歯向かってんだから法的根拠あるわけねえだろ闘って交渉して確約結んで獲得したんだろうが何を今更やかましい」と思うベテラン読者も多いと思いますが、自治寮に関するネットニュースに対するネトウヨのコメントはお察しの通り辛辣です。日就寮について取り上げて頂いた記事も残念ながら例外ではありませんでした。

まあ、普通の社会から見ればそりゃ異質ですよ...

こんなこと書くと僕が自治アンチに見えますが、自治って標榜せずとも、自分のことを自分で考えればそれはもう自治なので、別に特別なものでもないし、自治は誰にとっても必要だし身近であるべきです。

何故かという、自分を治める(自治)ことすら出来ないと、他人を治めることもできないからです。

もしあなたが他人に責任を持って指示を出すほど偉くなったとき、自分も他人も治められなかったら、いつの間にか立場を乗っ取られてしまいます。でも乗っ取る程優秀な人がチームにいればまだ幸いで、誰もいないとその組織は機能不全になってしまいます。

すっごい当たり前ですけど、僕が思う自治が大切な理由はこれに尽きます。

もう一つ留意してほしいのは自治っていいなーと思ってせっかく自治寮に入っても他人や規則や慣例に縛られて窮屈だなと思っていてはそこに自治は無い訳で、、まさに自治を標榜してる寮に管理されてるだけです。まあ、自分の意見を主張し、他人の辛辣な批評を受け止め、折衝して実行まで持っていくことは毎度毎度一筋縄ではいかず、凄くストレスが溜まる行為ではありません。でも、めげずに主体的に生きてください。

吉田寮を訪れた感想と今年の正月

ここで話のネタを変えます。読者の皆さまがラストスパートをかけて共テの勉強していたと拝察される2024年正月、筆者は呑気に青春18切符で京都旅行をしていました。初詣に行きまくりたかったので。その際、吉田寮のイベント「越田寮」で年を越し、改めて翌日見学させてもらいました。吉田寮を特集した写真集を見たのもあるのですが、普段から築50年の寮に住んでる人間からすると、現棟がちゃんと普通に住めそうだと思えました(住めて当たり前なのですが)。環境へ適応するって恐ろしいですね。新棟はあまり見学出来ませんでしたが、中にエレベーターがあるのにびっくりしました。筆者の実家よりも新しい建物なんだなと実感しましたし、中庭がおしゃれ。食堂の

今朝は死にたくなってしまった

今は生きようと決めた

好きな人ができたから

という落書きも好きですね。あなたはこういうのをイタいて即答しちゃう人ですか？

余談で締めます

筆者は多くの大学生とは逆に、大学生になって湯舟に浸かる習慣が出来ました。浴場のボイラーは重油で動いています。ここで気づくのが、重油代の安さ。LPガスや都市ガスとの比較は分かりませんが、103円/Lはガソリン、軽油と比べて破格じゃない？。

テスト勉強と期末レポートという現実から目を逸らして気晴らしに書いた大学生の散文にお付き合い頂きありがとうございました。京大受験生にはほぼ関係無いよその大学の寮の話でしたけど。京大合格&吉田寮入寮して東北地方に来た際には是非お立ち寄りください。寮生一同お待ちしております。

また、我々に執筆の機会を頂いた吉田寮委員会にこの場を借りて御礼申し上げます。

吉田寮に栄えあれや！

日就寮公式サイトはこちらから↓

